



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年4月22日

上場会社名 株式会社モバイルファクトリー 上場取引所 東  
 コード番号 3912 URL http://www.mobilefactory.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)宮崎 裕二  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)深井 未来生 (TEL)03-3447-1181  
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の業績 (平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	391	—	69	—	62	—	34	—
26年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	16.75	16.69
26年12月期第1四半期	—	—

- (注) 1. 平成26年12月期第1四半期において、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年12月期第1四半期の数値及び平成27年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。  
 2. 当社株式は、平成27年3月26日に東京証券取引所マザーズに上場しております。平成27年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から平成27年12月期第1四半期累計期間の期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	1,442	1,257	87.2
26年12月期	1,184	905	76.4

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 1,257百万円 26年12月期 905百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の業績予想 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	784	—	113	—	106	—	67	—	30.96
通期	1,633	6.1	241	14.2	234	10.3	147	24.8	66.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年12月期 1 Q	2,282,250株	26年12月期	2,037,250株
27年12月期 1 Q	—株	26年12月期	—株
27年12月期 1 Q	2,056,306株	26年12月期 1 Q	—株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、平成27年5月8日（金）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する説明会資料は、開催後速やかにT D n e t で開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済状況は、円安の進行及び企業業績の回復やデフレ脱却への期待から株高傾向が進み日本国内の経済も回復基調が続いております。一方で、不安定な国際情勢や個人消費の回復の鈍化がみられ、景気の回復が続くと考えられるものの個人消費については先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社はモバイルサービス事業の拡大に向けて、ソーシャルアプリサービス及びコンテンツサービスにおいて、ユーザー数の拡大、収益力向上に注力いたしました。

ソーシャルアプリサービスでは、位置情報連動型ゲームにおいて以下のとおり電鉄会社及び自治体と協業を行い、新たなユーザーの拡大や、O2O (Online to Offline) を行いました。

相手先等	内容	備考
三陸鉄道	復興支援コラボイベント	「駅奪取PLUS」/「駅奪取」
東京都	西多摩・島しょ地域観光PRキャンペーンの応援イベント	「駅奪取PLUS」/「駅奪取」 「ステーションメモリーズ！」
由利高原鉄道	コラボイベント	「駅奪取PLUS」/「駅奪取」
鹿島臨海鉄道	コラボイベント	「駅奪取PLUS」/「駅奪取」 「ステーションメモリーズ！」
全国“鉄道むすめ”巡り2015	O2O連動型デジタルスタンプラリー(提出日現在実施中)	「ステーションメモリーズ！」

このようなタイアップ企画及び日常の運営施策により、位置情報連動型ゲームの四半期別の売上高は過去最高を記録いたしました。今後も、多くのユーザーに長く楽しんで頂き、位置情報連動型ゲームの魅力をもっと多くのユーザーに広めると共に、沿線周辺の地域振興に貢献できるように鉄道事業者とのタイアップ等を行ってまいります。

スマートノベルにおきましては、新作を2本リリースいたしました。

コンテンツサービスでは、継続的に広告出稿管理を行い、収益の安定化に取り組みました。

上記の結果、当第1四半期累計期間における売上高は391,750千円となりました。売上高のサービス別の内訳として、ソーシャルアプリサービスの売上高は177,883千円（うち位置情報連動型ゲームの売上高は104,571千円、スマートノベル売上高は71,938千円、その他の売上高は1,372千円）、コンテンツサービスの売上高は213,867千円となり、営業利益は69,393千円、経常利益は62,047千円、四半期純利益は34,438千円となりました。

なお、当社は、モバイルサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

流動資産は前事業年度末に比べて、259,254千円増加し、1,249,045千円となりました。これは主として、現金及び預金が、税金の納付等がありましたが新規株式公開等により275,036千円増加したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べて、1,513千円減少し、193,389千円となりました。これは、有形固定資産が主として新規取得により1,857千円増加した一方、無形固定資産が主としてソーシャルアプリの開発、及びリリースに伴う減価償却による増減により、2,786千円減少したことによるものであります。無形固定資産の増減の詳しい内訳としましては、コンテンツ仮勘定は新規開発等により19,820千円増加しております。一方、コンテンツは新規リリースによる増加がありましたが、減価償却費の計上等で21,804千円減少しております。

この結果、総資産は257,741千円増加し、1,442,434千円となりました。

## (負債)

流動負債は前事業年度末に比べて、94,530千円減少し、173,331千円となりました。これは主として、税金の納付により未払法人税等が54,601千円、未払消費税等が16,045千円減少したことによるものであります。

固定負債は資産除去債務が時の経過により増加しております。

この結果、負債は94,511千円減少し、184,602千円となりました。

## (純資産)

純資産合計は前事業年度末に比べて、352,252千円増加し、1,257,832千円となりました。これは新規上場による公募増資を実施したことにより資本金及び資本剰余金がそれぞれ158,907千円増加したこと、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が34,438千円増加したことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の業績予想につきましては、平成27年3月26日付の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました業績予想から修正は行っておりません。

将来予測情報は、以下のように作成しております。

売上高に関しては、過去実績を根拠にすることで、現実に沿った業績予想となるように作成しております。

ソーシャルアプリサービスは、位置情報連動型ゲーム及びスマートノベルのジャンルごとに、ユーザー数、課金率、課金者あたりの課金額などの過去実績を根拠に、コンテンツサービスは、着メロ、占い、といったジャンルごとに、新規獲得会員数、既存会員の継続率などの過去実績を根拠に作成しております。

運営中のサービスについては徐々に減少することを見込んでおりますが、前事業年度の期中にリリースいたしました「ステーションメモリーズ！」等の複数のタイトルは、当事業年度においては期を通して売上に貢献いたします。また位置情報連動型ゲーム及びスマートノベルの両ジャンルで、複数のタイトルを新規にリリースする計画をしており、その結果、売上高は前事業年度より6.1%増加を見込んでおります。

なお、本業績予想は、各ジャンルの過去実績により、複数の新作及び運営中サービスを元に作成しており、特定のサービスに依存した予測はありません。

売上高のサービスごとの内訳は以下のとおりです。

	金額（単位：千円）
売上高	1,633,780
（うちソーシャルアプリサービス）	804,803
（うちコンテンツサービス）	828,977

売上原価、販売費及び一般管理費のコストのうち、売上高に連動するコストについては売上高の予想値に料率を乗じて作成しており、広告宣伝費については過去実績等を参考にプロモーションに係る戦略に基づき作成しております。また、人件費等については、過去実績に基づき作成し、原価計算については、プロジェクト毎の工数計画に基づき作成しております。その他のコストについては過去実績及び各部門の計画等により作成しております。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	624,806	899,843
売掛金	327,164	316,083
貯蔵品	499	520
前払費用	15,276	19,145
繰延税金資産	19,997	11,089
その他	3,544	3,808
貸倒引当金	△1,499	△1,443
流動資産合計	989,790	1,249,045
固定資産		
有形固定資産		
建物	39,641	39,641
減価償却累計額	△8,861	△10,244
建物(純額)	30,780	29,397
工具、器具及び備品	14,615	18,345
減価償却累計額	△9,381	△9,871
工具、器具及び備品(純額)	5,233	8,473
有形固定資産合計	36,014	37,871
無形固定資産		
ソフトウェア	9,546	8,755
コンテンツ	39,019	17,215
コンテンツ仮勘定	16,908	36,728
その他	53	41
無形固定資産合計	65,527	62,741
投資その他の資産		
敷金及び保証金	24,133	24,133
繰延税金資産	69,226	68,642
投資その他の資産合計	93,360	92,776
固定資産合計	194,902	193,389
資産合計	1,184,693	1,442,434

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,913	11,886
未払金	119,622	106,379
未払費用	982	826
未払法人税等	73,705	19,103
未払消費税等	31,744	15,699
預り金	1,412	2,869
賞与引当金	26,590	15,096
その他	1,891	1,471
流動負債合計	267,861	173,331
固定負債		
資産除去債務	11,252	11,270
固定負債合計	11,252	11,270
負債合計	279,114	184,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	224,500	383,407
資本剰余金	—	158,907
利益剰余金	681,079	715,518
株主資本合計	905,579	1,257,832
純資産合計	905,579	1,257,832
負債純資産合計	1,184,693	1,442,434



## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)
売上高	391,750
売上原価	183,593
売上総利益	208,157
販売費及び一般管理費	138,763
営業利益	69,393
営業外収益	
受取利息	9
営業外収益合計	9
営業外費用	
株式交付費	4,727
株式公開費用	2,628
営業外費用合計	7,356
経常利益	62,047
税引前四半期純利益	62,047
法人税、住民税及び事業税	18,115
法人税等調整額	9,492
法人税等合計	27,608
四半期純利益	34,438

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は平成27年2月20日及び平成27年3月6日開催の当社取締役会決議に基づき、当第1四半期会計期間において有償一般募集による新株式の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ158,907千円増加し、当第1四半期会計期間末において資本金が383,407千円、資本剰余金が158,907千円となっております。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社は、モバイルサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。